

製品のお取扱いについて

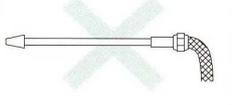
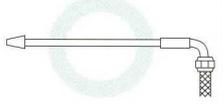
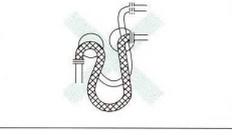
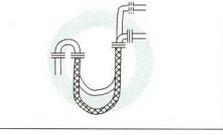
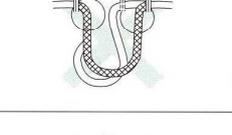
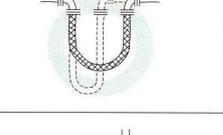
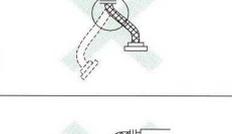
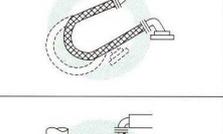
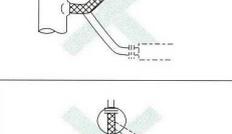
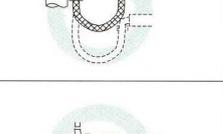
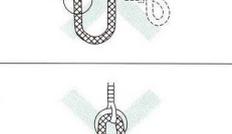
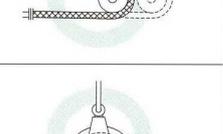
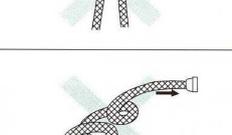
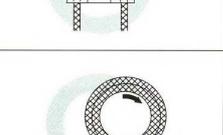
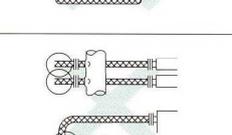
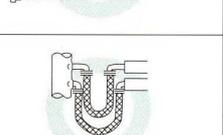
ご使用前に必ず下記の注意事項をお読みください。

1. 製品選定

- 酸、塩素イオンを含む流体には使用できません。短期間での腐食を生じる可能性があります。
- 腐食性ガス、沿岸付近などの環境では使用できません。塩害対策等を実施してください。
- 適用法規を確認してください。適用法規のラインに使用する場合には消防法など適用法規に合った製品を選定してください。
- 使用圧力を確認してください。許容圧力を超えた使用はホースの破壊につながります。
- 使用温度を確認してください。ホースは使用温度により耐圧強度が異なります。
- 使用目的を確認してください。配管の心あわせ、防振、地盤沈下対策など目的に合った製品を選定してください。不明な場合には必ずご相談ください。
- ホース全長または許容変位量を確認してください。許容変位量を超える使用はホースの寿命を低下させます。適切な長さを選定してください。
- 行政による指導がある場合、ホースは目的にあったものを選定してください。自治体によっては危険物配管に設置する小口径のホースも消防検査の対象となる場合があります。なお、危険物配管では、振動・脈動ならびに熱膨張、配管閉切りとうによる圧力上昇の発生が無いよう、配管側で処置を講じてください。

2. 製品取付

- 配管接続の際、極度に曲げないで下さい。曲げ部分の半径は、動きのある配管では「最小繰返し曲げ半径」を、動きのない配管では「最小固定曲げ半径」を下まわらないようご注意ください。
- 配管接続の際、ねじれを避けてください。ホースでねじれは吸収できません。フランジ形の場合には固定フランジ側から接続してください。また、ねじ形の場合には増し締めなどでホースをねじらないようご注意ください。
- ポンプの吐出側での取付の場合は、脈動などでホースが動かないように注意して、サポートを施工して下さい。
- フレキの耐圧性は外側のブレードにて保っていますので、フレキを引きずったり鋭角な部分に擦れるようなことがあります。ブレードを傷めてしまい破損する恐れがありますのでご注意ください。

誤	正	
		チューブはできるだけまっすぐ取付け
		チューブの曲げ半径を確保
		
		動きのある配管はU字配管が有利
		
		曲げ配管にはガイドが有効
		
		ねじれの加わらない配慮を (回転ジョイント) (の併用も有効)
